

令和8年度 公益財団法人 和歌山県栽培漁業協会事業計画

1 基本方針

本県地先海域における水産資源の維持増大を図るため、有用魚介類の種苗生産等を行い、放流等により栽培漁業を推進し、もって沿岸漁業の生産の向上に努める。

2 事業計画

(1) 種苗生産等事業

・県の委託を受け放流等に供するため、次のとおり種苗生産等を行う。

種類	計画数量	技術開発計画
ヒラメ	288千尾（30mm） 13千尾（80mm）	（種苗生産） 健全な親魚を養成し、良質な卵の確保を図るとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗をより安定的に生産する技術の確立を目指す。 （中間育成） より安定的に生産する技術の確立を目指す。
イサキ	20千尾（20mm）	（種苗生産） 健全な親魚を養成し、良質な卵の確保を図るとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗をより安定的に生産する技術の確立を目指す。 （中間育成） より安定的に生産する技術の確立を目指す。
クエ	37千尾（40mm） 11千尾（100mm）	（種苗生産） 形態異常の出現防止に努めるとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗をより安定的に生産する技術の確立を目指す。 （中間育成） より安定的に生産する技術の確立を目指す。
キジハタ	21千尾（40mm） 12千尾（80mm）	（種苗生産） 健全な親魚を養成し、良質な卵の確保を図るとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗をより安定的に生産する技術の確立を目指す。 （中間育成） より安定的に生産する技術の確立を目指す。
アワビ類	クロアワビ 58千個（35mm） メガイアワビ 45千個（36mm） トコブシ 97千個（28mm）	（種苗生産・中間育成） 天然貝から健全な親貝を養成し、良質卵を安定的して確保する技術の確立を図るとともに、活力のある種苗をより安定して生産する技術の確立を目指す。

・センター別生産計画

単位：千尾・千個

		ヒラメ	イサキ	クエ	キジハタ	アワビ類
令和7年度	北部センター	—	65		30	104
	南部センター	303		47		93
令和8年度	北部センター		20		32	103
	南部センター	301		47		97

(2) 環境変化に対応した増殖手法改良事業

広域種の効率的・効果的な栽培漁業を推進するため、広域種栽培漁業推進検討会（太平洋南海域トラフグ・ヒラメ）に出席する。

(3) 普及啓発事業

一般県民に栽培漁業への理解を深めてもらう一環として、小学生等を対象に体験放流や中学生の職場体験学習の受け入れを行う。